

## ◆ 八王子都税事務所長賞 ◆

「守るための速さ」

青梅市立泉中学校 3年 田中 蒼空

去年の夏のことだった。高速道路で、無理な追い越しと明らかなスピード超過を繰り返すスポーツタイプの車が、近くを走っていた。早くどこかに行ってくれないかなあと、何度も思ったが特に何か起こる訳でもなく、淡々と時間が過ぎていくだけだった。しかし、その時僕はある事に気付いた。近くを走っていたシルバーのセダンが、そのスポーツカーに近づいたのだ。そして、よく見るとその車は、覆面といわれる車だった。そこからスポーツカーのドライバーが捕まるのはあつという間だった。でも僕は少し疑問に思った。なぜただのセダンがあそこまで速かったのか。その後僕はその事について調べてみようと思った。

それから数日後。ネットを使い色々調べた結果、そのパトカーはチューニングを受けていることが分かった。どうやらスーパーチャージャーを積んであるらしい。なるほど、と僕は納得したが、ここでもう一つ疑問がでてきてしまった。そのお金はどこから来たのか。僕は追加で調べた。そして、驚くべきことが分かった。なんと、パトカーにかかる費用は僕らの払う税金で払っているらしいのだ。てっきり警察官の自費で払っているかと思っていたのでびっくりした。そして、何よりもびっくりしたのがそれが「税金」で払われているという事実だ。僕にとっての税金とは、理由もなく理不尽にお金をとられる、言ってしまうと「嫌」なものだった。しかし、その事実を知ってからは、その考えはどこかへ消えてしまった。それもそのはず。あの時の危険運転を繰り返したスポーツカーの事が頭をよぎったからだ。あの時パトカーがいなかったら、僕は危なかったかもしれない。そんな恩人とも言えるパトカーは、僕らの税金で支えられていたのだ。

確かに税金は、時として僕らの生活を苦しくする要因になることもある。しかし、その払った分の税金は、僕らの安全といった形で戻ってくるのだ。今回のパトカーみたいに、馬力を上げられた車も、その一つだ。あのスポーツカーのように、車検も通らないような改造で、自分の楽しむために付与された速さと違い、そういった危険な車を取り締まるために付与された速さ。まさに、僕たちを守るための速さなのだ。きっと今日もどこかで、パトカーはサイレンを鳴らし、そのパトカーの心臓は誰かを守るべく必死で動いていることだろう。そして、僕らの税金はきっと、そのサポートをしているだろう。僕らは、その為に納税をするのだ。だからこそ、今のうちに勉強し、良い仕事につく必要がある。僕は近い将来、そうなれるように必死に勉強をしている。まさに税金は、みんなを守る「力」なのだ。